

別紙 11：温室効果ガス算出式

1. 温室効果ガス排出量について

1. 1. 温室効果ガスの算出条件

温室効果ガス排出量の算出については、要求水準書「3. 事業条件」に記載の「表 1. 2 各浄化センターにおける想定流入水量及び発生汚泥量(日最大)」に基づく施設規模のものとすること。

消化設備・資源化施設については稼働日数 320 日として算出すること。設備の定期修繕に伴う工程で使用する補助燃料や電力がある場合は、それについても見込むこと。

1. 2. 温室効果ガス排出量の算出方法

温室効果ガス排出量は以下のものを総計したものとすること。

- ① 電力を用いた場合に排出される CO₂
- ② A 重油を用いた場合に排出される CO₂
- ③ 都市ガスを用いた場合に排出される CO₂
- ④ その他の場合

温室効果ガスの排出量の算定に用いる排出係数は表 1 に示す通りとする。処理の工程で一酸化二窒素が発生する場合の小名室効果ガス排出量は二酸化炭素換算を行うこと。ただし、一酸化二窒素の地球温暖化係数は 265 とすること。その他の値を提示する場合には根拠となる資料を示すこと。

表 1 温室効果ガス排出係数

項目	温室効果ガス排出係数	
電力	0. 408 kg-CO ₂ /kWh	※1
A 重油	2. 75 tCO ₂ /kl	※2
都市ガス (LPG)	2. 99tCO ₂ /t	※2
その他	事業者の提示する値	※3

※1 東京電力 2023 年度の CO₂ 排出係数について
<https://www.tepco.co.jp/ep/notice/news/2024/pdf/240802j0101.pdf>

※2 環境省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver6. 0) (令和 7 年 3 月) 第Ⅱ編
温室効果ガス排出量の報告方法 pⅡ-311 (参考 1) 燃料の使用に関する排出係数

※3 東京電力、東京ガス以外から受電、受給する場合は、根拠となる資料を示すこと。